

=====

第 2 回 ロボット機器普及化促進研究会開催のご案内
「人間共存環境下におけるロボット機器の安全方策」
主催:名古屋工業大学森田・佐藤研究室
共催:名古屋工業大学研究協力会
産学官連携センター

=====

本研究会の目的は、ロボット・メカトロニクス機器を社会に普及するために必要な知識を、専門家による講演を通じて参加者の皆様が習得することです。

研究成果を事業化するには、研究から開発段階の実用化に至るまでの「魔の川」を越え、実用化へと進んだプロジェクトの事業化までの「死の谷」を越え、市場での淘汰の荒波「ダーウィンの海」に耐えねばなりません。そのためには、デザイン性・操作性・安全性などの付加価値が必要となります。本年度はこれらのうち、安全性について専門家に講演をしていただきます。近年、ロボットに対しては自動車産業などで用いられる産業機械のみならず、医療・介護・福祉・リハビリといった分野や、パーソナルモビリティや家庭内ロボットといったサービスロボットの分野における事業化が期待されています。このようなロボットに対しては、従来の産業機械に行っていた安全方策では十分に対応できず、新しい安全方策が必要です。

そこで、人間共存環境下での安全方策について専門的に研究している、長岡技術科学大学 システム安全専攻 産学官連携研究員 五十嵐広希氏をお招きし、レクチャーを行ってまいります。五十嵐氏はこれまで、Segway・マネキン型のロボット・災害対応ロボットなど、様々なロボットに関する研究開発・販売・事業化に従事してきました。さらに、五十嵐氏は、公共環境での移動ロボットの実証実験「つくばチャレンジ」において安全責任者を務め、人間共存環境下でのロボットのリスクマネジメントの研究に従事されています。

2回目の開催となる今回は、当研究室のロボット等を対象に、実際にリスクアセスメントを講師の先生に行ってもらい、安全方策の仕方を生で見学してまいります。専門家のやり方を生で見るとは、参加者の皆様に大いに資するでしょう。

なお、2回目の研究会からの参加も可能です。講師の先生には、1回目の内容の概要を冒頭に説明してもらう予定です。1回目に参加できなかった方もぜひご参加ください。

たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

記

日時:2016年2月19日(金) 15時より

場所:名古屋工業大学 4号館 2階会議室 3(第1回と会場が異なりますので第1回の参加者はご注意ください)

プログラム:

15:00 開会挨拶および講師紹介

15:10 講演(120分、途中休憩10分含む)

講演題目:「人間共存環境下におけるロボット機器の安全方策(実践編)」

長岡技術科学大学 システム安全専攻 産学官連携研究員 五十嵐広希氏

17:10 閉会挨拶

17:20 交流会(会場:名古屋工業大学 4号館 2階会議室)

申込み〆切:2016年2月17日(水)

参加費:無料(交流会は会員2,000円、非会員3,000円を徴収いたします)

参加申込み先: sato.noritaka@nitech.ac.jp (E-mailでお申込みください)

問い合わせ先:〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町名古屋工業大学 おもひ領域 森田・佐藤研究室

TEL 052-735-5115

※ 名古屋工業大学への案内地図および建物配置図は、<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html> をご覧ください。

=====

申込書

名古屋工業大学 森田・佐藤研究室(sato.noritaka@nitech.ac.jp)宛

ご所属:

ご氏名:

メールアドレス:

お電話:

[] 第2回ロボット機器普及化促進研究会に参加します。

[] 交流会に参加します。

※参加する[]に○印を記入の上、送付ください。

事前アンケート(自由記入・可能でしたらお答えください)

・職種など、ご専門をお教えてください:

・安全方策に関する疑問や質問があればご記入ください:
